

令和5年度当初予算編成方針のポイント

国・地方財政の動向

- ◇ **コロナ・物価高騰の影響**
 - ・ 令和3年度から4年度に2回にわたる補正予算の編成により国債発行額増大
 - ・ 国・地方における財政需要の拡大
- ◇ **骨太の方針2022**
 - ・ 財政健全化目標の堅持
 - ・ 新しい資本主義に向けた「GX・DXへの投資」「子ども家庭庁」の創設による体制強化「デジタル田園都市国家構想」の実現

徳島県の状況

- ◇ **感染症に強い徳島づくりの強化**
 - ・ 「新型コロナ」「災害列島」「人口減少」の三つの国難に加え、「原油価格・物価高騰」に直面
 - ・ 「DX」「GX」の更なる加速化による積極果敢な挑戦が必要
- ◇ **「政策創造」と「健全財政」の両立**
 - ・ アフターコロナを見据えた「持続可能な財政基盤」の確立に向け、なお一層の努力が必要

編成方針

骨格予算としての編成

- 令和5年度当初予算は、5年春に統一地方選挙が予定されているため、「骨格予算」として編成
- 義務的・継続的な事業の計上のほか、「新型コロナ」や「原油価格・物価高騰」の動向を踏まえ、早急に実施すべき「感染症対策」や「経済対策」、喫緊の課題である「防災・減災対策」については、今後の補正予算と併せ切れ目なく予算計上
- 統一地方選挙後に補正予算（「肉付け予算」）を編成

「政策創造」と「健全財政」を両立する予算編成

I 「歳入・歳出改革」の徹底

- **既存事業の大胆な転換と再構築**
 - ・ 「大阪・関西万博」をマイルストーンに既存事業の大胆な転換と再構築
 - ・ 「DX」「GX」の更なる加速化による「新たな施策展開」
- **「とくしまスマート予算事業」の更なる推進**
 - ・ 「ソフト版既存ストック」有効活用の推進
- **政策提言を通じた財源確保・外部資金等の有効活用**
 - ・ 国庫補助金の獲得やクラウドファンディング等の推進

II 「働き方改革」の徹底

- **枠査定方式の実施**
 - ・ 「一般行政推進費」の実施
- **マイナスシーリングの撤廃継続**
 - ・ 予算要求前の作業負担軽減
 - ・ 戦略的な政策立案の促進
- **予算編成作業におけるDXの推進**
 - ・ オンラインヒアリングの原則化
 - ・ ペーパーレスの徹底

「アフターコロナ」を見据えた「政策創造」と「健全財政」を両立

要求基準のイメージ

「ゼロベース」での「真の見直し」により、施策の硬直化を打破し、「新たな事業への転換」を促進！

R4年度当初予算
政策的経費等
(一般財源ベース)

| | |
|---------------|------------------------|
| 政策的経費 | 骨格/肉付けの精査を要するため、別途定める。 |
| 維持補修費(県単維持除く) | 前年度予算 + 5% |
| 施設管理費 | 前年度予算以内 |
| 一般管理費 | 前年度予算以内 |
| R4年度当初予算 | R5年度当初予算 |

R5年度当初予算
政策的経費等
要求可能額
(一般財源ベース)

「公共事業等」についても、骨格/肉付けの精査や国の動向等の把握を要するため、別途定める。

編成スケジュール(予定)

- 庁議、編成方針発表 9月6日(火)
 - 要求書締切 11月2日(水)
 - 財政課長査定 12月 中旬～
 - 知事査定 1月 中旬頃
 - 予算案発表 2月 上旬頃
- 「1ヶ月前倒し」継続により要求作業を平準化